

ねえ、ひよちゃん
青沼貴子

1714



高輪ゲートウェイ駅=JR東日本提供

区は一一年十月、区内で建てられる建築物に国産木材の使用を促す「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」を始めた。使われないまま古くなった木を伐採して燃やせばCO₂を排出するが、使えば吸収したCO₂を閉じ込め続けられる。

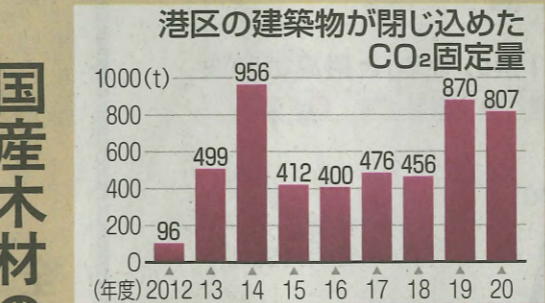
木々の循環

トウエイ駅は、屋根やベンチなど至る所に木が使われている。区の認証は三段階で最高の三つ星。延べ床五万七千平方メートルの複合施設「みなとパーク芝浦」には、壁や腰掛けなどに四百七十七立方メートルの木が使われている。旗振り役である区の面目躍如だ。



壁一面に木材が使われたみなどパーク芝浦の区民ギャラリー

木材を使った外観が目を引く銀泉西新橋ビル。いずれも港区で



国産木材の促進10年

港区の木材使用促進制度 区内で延べ床5000平方メートル以上を建てる場合、建築確認申請とともに国産木材の使用計画書の提出を求める。最低1平方メートル当たり0.001立方メートル(10センチ四方の積み木1個分)から。使用量に応じて3段階の認証書を発行する。5000平方メートル以下でも認証を受けられる。区と協定を結ぶ市町村で産出された木の使用を促す。使った分を新たに植樹する約束をしているためだ。協定相手の市町村は開始当初の全国32から81に増えた。

木をふんだんに使った薬局や木材アートのようなオフィスビル……。港区で建材の一部に木を採り入れた建物が目立ってきた。二酸化炭素(CO₂)の削減に努力しているとして国産木材を活用した建物を区が認証する制度を始めて十年。何かとドライになりがちな都心の真ん中を、増してきた「木々」が潤している。

港区に脈々

さん(笑)は「きっかけは当時あった補助金。でも来る方々から『温かみがあるね』と好評です」と笑う。

西新橋交差点角に一月末に完成したオフィスビル「銀泉西新橋ビル」。地上十二階地下一階、延べ床七千七百八十一平方メートルに二〇・六七立方メートルの木材を使う。五重の塔をイメージさせるデザインが存在感を主張する。

ビル開発などを手掛ける銀泉(本社・大阪市)は一六年に区内に整備した別のビルでも認証を取得。益子俊彦・東京ビル開発部長は「さらに木をアピールするデザインを考えた。この先、脱炭素や環境への配慮が必ずお客さまから求められる。認証がビルのアピールポイントになれば」と話す。

新橋、赤坂、六本木。港区は繁華街だらけだ。代表的な温室効果ガスのCO₂排出量は都内自治体でもっとも多い。



受付カウンターや壁に木材を使用した中川薬局

コーヒーの資格が取れる通信講座!

▼資料請求は
お電話・FAX・
携帯・インターネットで。

携帯はコチラ
QRコード

☎03-3465-2012
FAX:0120-161-418
www.happy-semi.com/s/7088
〒151-8671
東京都渋谷区元代々木町14-3
日本創芸学院

詳しい講座資料、無料進呈中!

全国の 木 幅

きょう 降水確率 4(金) 5(土) 6(日)

25.0